



1933年10月22日生まれ。神奈川県出身。

1950年松竹歌劇団に入団し、1953年映画『純潔革命』でデビュー。日本ミュージカル界の草分け的存在として、数多くの舞台、映画、ドラマに出演している。

1958年から放送のテレビ黎明期の音楽バラエティで自らの冠司会番組でもある『光子の窓』では、洋窓から顔をのぞかせてテーマ曲を歌うオープニングが注目を集め、人気を博した。

成瀬巳喜男作品の常連で、市川崑作品とも縁が深く、金田一耕助シリーズでは『犬神家の一族』（1976年）の犬神梅子役を筆頭にシリーズ全てに皆勤した（2006年公開のリメイク版にも出演）。

主な出演作として、映画は「社長シリーズ」「犬神家の一族」「沈まぬ太陽」「武士の家計簿」「デン德拉」「0.5ミリ」等多数。舞台は「ラ・マンチャの男」「シカゴ」の日本初演に参加。「私はシャーリー・ヴァレンタイン」「ウィット」「6週間のダンスレッスン」「グレイ・ガーデンズ」「ロスト・イン・ヨンカーズ」等。

2016年NHK大河ドラマ「真田丸」では主人公真田信繁の祖母役を務める。

昨年は日本経済新聞「私の履歴書」の連載、主婦と生活社『草笛光子のクローゼット』の発刊、主演映画「ばあちゃんロード」の公開に続き、ライフワークである「6週間のダンスレッスン」を集大成として演出を一新して挑むなど、多岐にわたる活動で多忙を極めた。

また、2019年6月からは、舞台『ドライビング・ミス・デイジー』（紀伊国屋ホール）の出演も決定している。受賞歴も多く「6週間のダンスレッスン」で読売演劇大賞優秀女優賞、松尾芸能賞大賞を受賞。また芸術祭賞を3度受賞している。

1998年第49回NHK放送文化賞、2013年第48回紀伊国屋演劇賞・個人賞、2014年に第39回菊田一夫演劇賞・特別賞。1999年紫綬褒章、2005年旭日小綬章。



1964年 埼玉県秩父市生まれ
1987年 武蔵野美術大学造形学部卒業
1988年 林家こん平に入門
1992年 二ツ目昇進
2000年 真打昇進
2010年 母校武蔵野美術大学客員教授就任
2014年 社)落語協会理事

NHK新人演芸コンクール優秀賞、第58回芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞歴多数。

独自の解釈で現代にも通じるわかりやすく楽しい高座は「たい平ワールド」と呼ばれ、老若男女ファンは多い。テレビやラジオに出演のほか、CDデビュー、映画のプロデュース・主演するなど、落語のすそ野を広げるための努力を続けている。

日本テレビ『笑点』の大喜利メンバー。

新人賞 神田 松之丞

講談師



誕生日：1983年6月4日

出身地：東京都豊島区

2007年11月 三代目神田松鯉に入門

2012年6月 二ツ目昇進

2015年10月 「読売杯争奪 激突！ 二ツ目バトル」優勝

2016年4月 「今夜も落語漬け」3分講談優勝

2016年12月 「真冬の話術」優勝

2017年3月 「平成28年度花形演芸大賞」銀賞受賞

「連続物」と言われる、宮本武蔵全17席、慶安太平記全19席、村井長庵全12席、天保水滸伝、天明白浪伝全、畔倉重四郎etc、また「端物」と言われる数々の読み物を異例の早さで継承した講談師。

持ちネタの数は10年で130を超え、独演会のチケットは即日完売。

講談普及の先頭に立つ活躍をしている。